

Kultur Kalender

2018

7
JUL

8
AUG

9
SEP

KULTUR AUS ÖSTERREICH IN JAPAN

音楽

musik



ウォルフガング・ムースピール・トリオ・ウィズ・ブライアン・ブレイド・アンド・スコット・コリー (ジャズ)
WOLFGANG MUTHSPIEL TRIO
mit BRIAN BLADE & SCOTT COLLEY (Jazz)

ファゴット・トリオ・ザルツブルク

7月3日 JT アートホールアフィニス (東京)
Information: Tel.03-3943-6677

Fagott Trio Salzburg

3. Jul. JT Art Hall Affinis, Tokyo
Information: Tel.03-3943-6677



キッズンキャッツ (エレクトロ・ポップ)
KIDS N CATS (Electro Pop)

ハンス・ペーター・シュー (トランペット)

7月11日 ヤマハホール (東京)
Information: Tel. 03-3943-6677

Hans Peter Schuh (Trompete)

11. Jul. Yamaha Hall, Tokyo
Information: Tel. 03-3943-6677

ウォルフガング・ムースピール・トリオ・ウィズ・ブライアン・ブレイド・アンド・スコット・コリー (ジャズ)

8月9日~11日 コットンクラブ (東京)
Information: <http://www.cottonclubjapan.co.jp/jp/sp/artists/wolfgang-muthspiel/>

WOLFGANG MUTHSPIEL TRIO mit BRIAN BLADE & SCOTT COLLEY (Jazz)

9. - 11. Aug. Cotton Club, Tokyo
Information: <http://www.cottonclubjapan.co.jp/jp/sp/artists/wolfgang-muthspiel/>



トリオ・イメーシオ
Trio Immersio

キッズンキャッツ (エレクトロ・ポップ)

9月1日 CLUB ROCK'N'ROLL (名古屋)
9月2日 FANDANGO (大阪)
9月3日 MOJO (京都)
9月7日 代官山 UNIT (東京)
9月9日 FLYING SUN (仙台)
Information: <http://tsushimamire.com/ja/2018/05/17/post-1401/>

KIDS N CATS (Electro Pop)

1. Sep. CLUB ROCK'N'ROLL, Nagoya
2. Sep. FANDANGO, Osaka
3. Sep. MOJO, Kyoto
7. Sep. Daikanyama UNIT, Tokyo
9. Sep. FLYING SUN, Sendai
Information: <http://tsushimamire.com/ja/2018/05/17/post-1401/>

トリオ・イメーシオ

9月6日 西条市総合文化会館小ホール
9月8日 ガレリアかめおか響ホール
9月9日 奈良県立図書情報館
Information: <https://www.trioimmersio.com/>

Trio Immersio

6. Sep. Saijo Sogo Bunka Kaikan
8. Sep. Galleria Kameoka Hibiki Hall
9. Sep. Nara Prefectural Library and Information Center
Information: <https://www.trioimmersio.com/>



ターボビア (ロック)
Turbobier (Rock)

ターボビア (ロック)

9月13日 Zirco (東京)
9月14日 Babel (立川)
9月15日 Narciss (浦和)
9月18日 Namba Mele (大阪)
9月20日 Zeela (大阪)
9月21日 Arthouse (神戸)
9月22日 Nano (京都)
9月24日 Brand New (大阪)
9月26日 7th Avenue (横浜)
9月27日 Shuffle (吉祥寺)
9月28日 Heaven's Door (東京)
9月29日 Starlounge (渋谷)
Information: <http://turbobier.at/>
<https://commons.wikimedia.org/wiki/>

Turbobier (Rock)

13. Sep. Zirco, Tokyo
14. Sep. Babel, Tachikawa
15. Sep. Narciss, Urawa
18. Sep. Namba Mele, Osaka
20. Sep. Zeela, Osaka
21. Sep. Arthouse, Kobe
22. Sep. Nano, Kyoto
24. Sep. Brand New, Osaka
26. Sep. 7th Avenue, Yokohama
27. Sep. Shuffle, Kichijoji
28. Sep. Heaven's Door, Tokyo
29. Sep. Starlounge, Shibuya
Information: <http://turbobier.at/>
<https://commons.wikimedia.org/wiki/>



ヴェルナー・ブンティガム (実験音楽)
Werner Puntigam (Experimentelle Musik)

ヴェルナー・ブンティガム (実験音楽)

9月15日 JAZZ ART せんがわ 2018にて
有本羅人、巻上公一と共演、
せんがわ劇場

Werner Puntigam (Experimentelle Musik)

15. Sep. Teilnahme an JAZZ ART Sengawa 2018
mit Rabito Arimoto & Koichi Makigami,
Sengawa Theater



ストラートス・カルテット
Stratos Quartett

ストラートス・カルテット

9月18日 サンシティ越谷市民ホール
9月19日 東京文化会館小ホール
9月20日 平塚市中央公民館
9月21日 小田原市民会館
Information: <http://stratosquartett.at/>

Stratos Quartett

18. Sep. Suncity Koshigaya Shimin Hall
19. Sep. Tokyo Bunka Kaikan
20. Sep. Hiratsukashi Chuo Kominkan
21. Sep. Odawara Shimin Kaikan
Information: <http://stratosquartett.at/>



ピアノ・デュオ・クトロヴァッツ
Piano Duo Kutrowatz

ピアノ・デュオ・クトロヴァッツ

9月21日 ヤマハホール (東京)
9月22日 町田市民ホール
9月28日 酒田市民会館希望ホール
Information: Tel. 03-6452-9012

Piano Duo Kutrowatz

21. Sep. Yamaha Hall, Tokyo
22. Sep. Machida Shimin Hall
28. Sep. Sakata Shimin Kaikan, Kibo Hall
Information: Tel. 03-6452-9012



ヤナ (日本語ポップス)
Y.A.N.A. (Japanische Popmusik)

ヤナ (日本語ポップス)

9月21日 ミセドルフィン (大阪)
9月25日 ワニとサイ (松山)
9月29日 歌う家 -Utauka- (東京)

Y.A.N.A. は、歌手ヤナ・ヴォルフと、プロデューサーのフィリップ・ヴァルデンベルガーによる J-Pop プロジェクト。アクセントのない美しい日本語の歌唱を、オーストリアのインディーズシーンのキャッチーなメロディとサウンドに載せて、世界的にも人気が出てきた J-Pop というジャンルに、非日本人が敢然と挑む。

Y.A.N.A. (Japanische Popmusik)

21. Sep. Mrs. Dolphin, Osaka
25. Sep. Wani To Sai, Matsuyama
29. Sep. Utauaka, Tokyo

Der österreichische J-Pop Act Y.A.N.A. ist eine einmalige Verbindung zwischen japanischer Sprache und Kultur und dem Land Österreich. Erstmals wagt sich eine nicht-japanische Musikerin in das mittlerweile auch international hochbeliebte japanische Musikgenre J-Pop vor – und dies mit wunderschönem, akzentfreiem Gesang auf Japanisch und eingängigen Melodien und Klängen aus der österreichischen Indie-Pop-Szene.

インターネット、SNS でも情報発信中!

web <http://www.austrianculture.jp/>
facebook <http://www.facebook.com/#!/AustrianCulturalForumTokyo>
twitter <https://twitter.com/ACFTokio>

「オーストリアのドイツ語」twitter アカウント

http://twitter.com/austrian_german

発行者: オーストリア大使館
編集: コンスタンティン・サウペ、曾我晶子 デザイン: ハイアートデザインスタジオ
当刊行物は2018年6月1日現在の資料を基に細心の注意を払って編集しておりますが、
内容変更や記述によって生じたトラブルに関し発行者は法的責任は一切負いません。
内容に関してのご意見、ご質問はオーストリア大使館文化フォーラム
〒106-0046 東京都港区元麻布1-1-20 Tel. 03-3451-8281 までお寄せください。

Herausgeber: Österreichische Botschaft / Kulturforum
Redaktion: Konstantin Saupe, Akiko Soga Gestaltung: HiART DESIGN STUDIO
Änderungen vorbehalten. Für die Richtigkeit und Vollständigkeit der
Angaben kann keine Gewähr übernommen werden.

オーストリア文化フォーラム



展覧会

ausstellung

エステルハーザー財団コレクション ヨーゼフ・ハイドン – エスターハーザー 宮廷における音楽と生活様式

7月3日～16日、休館日：土・日 13:00～16:45

オーストリア文化フォーラム東京

この展覧会では、ヨーゼフ・ハイドンの生活と創作活動を示す、歴史的に価値のある資料が展示される。ハイドンは、40年以上にわたり宮廷楽長および作曲家として、ハンガリーの大貴族、エステルハーザー一家に仕えた。1687年、エステルハーザー一家はオーストリア皇帝より侯爵位を授かり、アイゼンシュタットを拠点に選んだ。数百年にわたり、一家は傑出した芸術コレクションを築き上げ、多くの偉大な芸術家をパトロンとして庇護した。今回の展示物は、このたび初めてエステルハーザー城から持ち出されるものばかりである。

7月2日19時からのオープニングでは、エステルハーザー財団コレクションを管理するフローリアン・バイヤー氏による解説が行われる。

バスキアとNYアーティストたち ローランド・ハーゲンバーグ写真展

9月8日～10月21日、休館日10月16日

三菱地所アルティウム（福岡）

ライター・アーティストのローランド・ハーゲンバーグは、1980年代にニューヨークで、編集者として活動していた。その際、ともに活動したアーティストのジャン・ミッシェル・バスキアの、スタジオで制作中の自然な姿をとらえた写真や、ハーゲンバーグと交流のあったアンディ・ウォーホルやキース・ヘリング、ロバート・メイブルソープなどの写真を展示する。

Information: <http://artium.jp>

Sammlung Privatstiftung Esterházy Joseph Haydn – Musik und Leben im Schloss Esterházy

3.- 16. Jul., Sa. u. So. Geschlossen, 13:00–16:45

Österreichisches Kulturforum Tokio

In dieser Ausstellung werden historisch wertvolle Archivalien aus dem Leben und Schaffen Joseph Haydns gezeigt. Der Komponist stand über 40 Jahre als Hofkapellmeister und Komponist im Dienst der Fürsten Esterházy. Die Familie Esterházy ist eine bedeutende ungarische Adelsfamilie. 1687 wurde die Familie vom österreichischen Kaiser in den Fürstenstand erhoben und wählte Eisenstadt als ihren Hauptsitz aus. Über die Jahrhunderte hinweg baute die Familie eine bemerkenswerte Kunstsammlung auf und war Mäzen zahlreicher bedeutender Künstler. Die zu sehenden Ausstellungsstücke werden zum ersten Mal das Schloss Esterházy in Eisenstadt verlassen. Bei der Eröffnung am 2. Juli um 19:00 Uhr wird Dr. Florian Bayer, der Leiter der Sammlungen der Esterházy Privatstiftung, zur Ausstellung sprechen.

Fotografie Ausstellung „Basquiat & Künstler in NY“ von Roland Hagenberg

8. Sep. – 21. Okt., Geschlossen am 16. Okt.

Mitsubishi Estate Artium, Fukuoka

Der österreichische Schriftsteller und Künstler Roland Hagenberg lebte in den 1980er Jahren in New York. Damals fotografierte er den Künstlern Jean-Michel Basquiat bei der Arbeit im Atelier. Die Ausstellung präsentiert diese einzigartige Dokumentation von Basquiat sowie Fotos anderer legendärer Künstler wie Andy Warhol, Keith Haring und Robert Mapplethorpe, mit denen Hagenberg zusammengearbeitet hat.

Information: <http://artium.jp>

映画

film

「世界で一番の幸せ」

監督：アドリアン・ゴイギンガー監督
EUフィルムデイズ2018での上映

7月13日 18:30

広島市映像文化ライブラリー

元気で想像力豊かな7歳のアドリアンは、母親ヘルガの献身的な愛を一身に受け、ザルツブルク郊外で幸せな生活を送っていた。

実はヘルガはドラッグ中毒で、息子との生活を守るためにその事実をひた隠しにしていた。ところがある日、ドラッグディーラーが彼らのアパートで不審死を遂げ、警察沙汰となってしまふ。

ヘルガは、最愛の息子を失わないために今度こそきっぱりとドラッグを断つ必要に迫られる。監督自らの回想にもとづく実話。

Information: <https://eufilmdays.jp/>

「ゲッベルスと私」

監督：クリスティアン・クレーネス、
フロリアン・ヴァイゲンザマー、オーラフ・S・
ミュラー、ローラント・シュロットホファー

岩波ホール（東京）ほか 全国順次公開

2016年に制作された、ナチスの宣伝大臣ゲッベルスの秘書を3年間務めたブルンヒルデ・ボムゼルについてのドキュメンタリー映画。

ボムゼルはこの映画で初めて、独裁者ヒトラーに近い立場での個人的な経験や、疑問、不安、罪悪感などについて語っている。2017年にボムゼルは106歳で亡くなり、この映画が最後の証言となった。

Information: <https://www.sunny-film.com/a-german-life>

「映画監督ミハエル・ハネケ」

監督：イブ・モンマユール
SKIP シティ国際 D シネマ映画祭

7月20日 10:30 SKIP シティ 多目的ホール

「愛、アムール」や、演劇ワークショップを通じて、彼の映画理論と演出術を分析。

10年にわたる密着から垣間見える素顔や、イザベル・ユベールやジュリエット・ピノシュなど出演女優のインタビューも必見。

Information: <http://www.skipcity-dcf.jp/>

イメージフォーラム・フェスティバル 2018 フィルムメーカーズ・イン・フォーカス

「 Kult・クレン、フレームの王」
(16作品 / 61分 / オーストリア、アメリカ)

8月8～12日 スパイラルホール（東京）
8月4～12日 シアター・イメージフォーラム（東京）
8月21～24日 京都芸術センター
8月25～26日 ルーメン・ギャラリー（京都）
9月 横浜美術館（予定）
9月26～30日 愛知芸術文化センター
アートスペース A, E, F, (名古屋)

ニューヨーク近代美術館での上映やオーストリア・フィルム博物館の修復プロジェクトなど、近年再評価が高まる「構造映画」のマスター、クルト・クレンの特集プログラム。クルト・クレン(1928-1998)は、あらかじめ設定されたチャートに基づいてコマずつ撮影することで、既存の「映画」についての概念をした。オットー・ミュールやギュンター・ブルスらウィーン・アクションニズムのパフォーマンスを記録した一連の作品群がよく知られているクレンだが、その綿密に計算されたフレームの連なりが与えるパンクな精神とリリカルな詩情に魅入られる。クレン没後20年にあたって、オーストリア・フィルム博物館が修復・デジタル化したリマスター素材を上映する。キュレーション担当のブリギッタ・ブルガー＝ウツァー(ディレクター、シックスバックフィルム)のトークも予定。

Information: <http://www.imageforumfestival.com>

演劇

theater

ドイツ同時代演劇 リーディング・シリーズ

7月25日～30日 ドイツ文化会館ホール（東京）

『冬の旅 الشتاء رحلة』

作：ヤエル・ロネン
訳、演出：小山ゆうな（雷ストレンジャーズ）
上演：7月27日、28日
ワークショップ：7月28日

『ヨーロッパへ行き着くヨーロッパ』

作：ミロ斯拉ヴァ・スヴォリコヴァ
訳：小畑和奏 演出：櫻井美穂(青年団)
上演：7月28日、29日
専門家会議：7月27日

ゲーテ・インスティトゥートの「演劇分野の翻訳助成」によって日本語に翻訳された最新のドイツ演劇の作品を、リーディング形式で4本一挙に紹介。うち2本がオーストリアの作家の作品。移民の流入に揺れるドイツの状況を当事者の視線から描いて、その矛盾や葛藤を明るみに出すのは、ヤエル・ロネンの『冬の旅 الشتاء رحلة』。

『ヨーロッパへ行き着くヨーロッパ』は『ヨーロッパへ行き着くヨーロッパ』で、理想郷ヨーロッパの挫折の解謎を試みる。0年とスヴォリコヴァは来日し、ワークショップ、ディスカッション、インスタレーション等にも参加する。

Information & Registration: <http://www.imageforumfestival.com>
Tel. 03-3584-3201 info-tokyo@goethe.de

DRAUSSENWELTEN – Neue deutschsprachige Dramatik

25. – 30. Jul. OAG Hall, Tokyo

『Winterreise الشتاء رحلة』

Autorin: Yael Ronen
Übersetzung & Regie: Yuna Koyama (Kaminari Strangers)
Aufführung: 27. und 28. Jul.
Workshop mit Yael Ronen: 28. Jul.

『europa flieht nach europa』

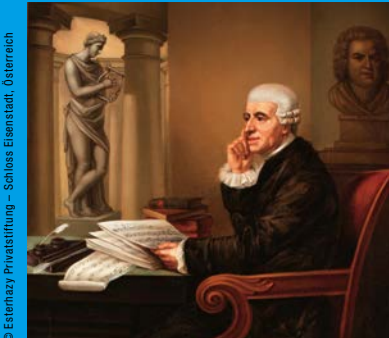
Autorin: Miroslava Svolicova
Übersetzung: Wakana Obata, Regie: Miho Sakurai (Seinendan)
Aufführung: 28. und 29. Jul.
Diskussion mit Miroslava Svolicova: 27. Jul.

Zusammen mit vier jungen japanischen Regisseuren werden unter dem Namen DRAUSSENWELTEN vier aktuelle, deutschsprachige Theaterstücke vorgestellt, die auf unterschiedliche Weise die gegenwärtige Situation der drei deutschsprachigen Länder widerspiegeln. Zwei davon sind Stücke der österreichischen Autorinnen Yael Ronen und Miroslava Svolicova. Sie nehmen auch an workshops, Diskussionen und Installationen teil.

『Winterreise الشتاء رحلة』 von Yael Ronen & „Exil Ensemble“ (jap. Übersetzung und Regie: Yuna Koyama) schildere die Schwierigkeiten und Erfahrungen des Lebens durch die Augen von Flüchtlingen.

『europa flieht nach europa』 von Miroslava Svolicova (jap. Übersetzung: Wakana Obata, Regie: Miho Sakurai) ist die chronologische Aufarbeitung der Geschichte eines Kontinents. Verkleidet als karnevalische Farce versucht der Text den Kontext zu lokalisieren, in welchem die ursprüngliche Idee der Utopie Europa gescheitert ist.

Information & Anmeldung: <http://www.imageforumfestival.com>
Tel. 03-3584-3201 info-tokyo@goethe.de



© Esterházy Privatstiftung – Schloss Eisenstadt, Österreich
エステルハーザー財団コレクション
ヨーゼフ・ハイドン – エスターハーザー宮廷における音楽と生活様式
Sammlung Privatstiftung Esterhazy
Joseph Haydn – Musik und Leben im Schloss Esterházy
Joseph Haydn (1732–1809) Isidor Neugass (1780–nach 1847), 1806



バスキアとNYアーティストたち
ローランド・ハーゲンバーグ写真展
Fotografie Ausstellung „Basquiat & Künstler in NY“ von Roland Hagenberg



「世界で一番の幸せ」
„Die beste aller Welten“



「ゲッベルスと私」
„Ein deutsches Leben“



「映画監督ミハエル・ハネケ」
„Michael H. Profession: Director“



© Max Zerain
ミロ斯拉ヴァ・スヴォリコヴァ
Miroslava Svolicova